

**令和3年度当初予算の概要**  
**(事業別説明資料)**

**河合振興事務所**



## 目 次

天生の森と人のプロジェクト .....	3
止利仏師伝説の伝承 .....	4
バラと森のプロジェクト .....	5
河合地歌舞伎の伝承支援 .....	6

注：タイトル末尾に\*印がある事業は所属ごとの概要資料のみに掲載しています（\*印がない事業は主要事業編から再掲となります）

## [拡充] 天生の森と人のプロジェクト

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
9,049	ふるさと創生基金	6,049	工事請負費	6,000
	県補助金	3,000	負担金	1,660
			その他	1,389
(前年度予算 8,080 )				

### 2 事業背景・目的

河合町のシンボルである「天生の森」は標高1,744mの<sup>もみぬかやま</sup>靱糠山をはじめ樹齢400年のブナ林や水芭蕉等の湿原など変化に富んだ1,638haの県立自然公園です。

年間入山者数は約4,000人台で推移しており、登山口から靱糠山まで片道約4.1km(約3時間)、管理する遊歩道が約7.0kmあります。

【入山者数(単位：人)、R2：4,832、R1：4,266、H30：2,454、H29：4,679】

【R2の入山者割合(%)、県内42、東海26、北陸21、近畿7、関東3、その他1】

この森を次世代につなぐため、令和元年度に生態系に配慮した遊歩道等の環境デザイン計画を策定し、森の保存技術の継承と人員対策、陸地化が進む湿原の保全対策、トイレ等の改善など様々な課題を整理しました。そして、令和2年度には、安全対策の強化のため、公園内の標識の問題点を洗い出し、森の景観に沿った見やすいサイン計画を策定しました。

令和3年度は同計画をもとに2ヶ年に渡りサイン整備を行うことにより、安心して自然景観を楽しめる環境整備を推進します。

### 3 事業概要

#### ① 【新規】サイン設置工事(6,000千円)

地域産材を利用し、飛騨の匠の技術(継ぎ手)による森の景観に調和した現在地がわかりやすいサインの再整備を行います。

令和3年度 20基予定(全体40基)

#### ② 【継続】ワークショップの開催(220千円)

現在、遊歩道を管理される方は15人で、うち8名が70歳以上であることから、近自然工法技術の後継者育成を目的とした「遊歩道修繕ワークショップ」を開催します。

#### ③ 【継続】湿原環境保全管理委託料(1,100千円)

#### ④ 【継続】天生の森の保全事業負担金(1,660千円)

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	7 地域振興費
所 属	河合振興事務所地域振興課		TEL0577-65-2221	予算書	P.55

## [拡充] 止利仏師伝説の伝承

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
1,100	一般財源	1,100	委託料	987
			印刷製本費	113

(前年度予算 1,242 )

### 2 事業背景・目的

河合町には、「都から仏像の良木を求めて飛騨天生の地に入ってきた<sup>くらべのたずな</sup>鞍部多須奈が、そこに住む女性と結ばれ子どもを授かった。生まれた子は鳥と名付けられ、やがて都に出て法隆寺金堂の釈迦三尊像など見事な仏像を作り、歴史に残る人物“止利仏師”となった。」という伝説があります。

この伝説を後世に伝えるため、河合小学校では伝説にまつわる民話劇や伝説をテーマにした匠太鼓が継承されるなどが行われていますが、一方で、市内外において飛騨の匠の始まりとされるこの伝説が十分に知られていないことが課題となっています。

そこで令和3年度には「天生の森と止利仏師伝説研究委員会（令和2年度設置）」による調査研究をもとに市民講座等を実施するとともに、市内外へ広く周知を図る企画展の令和4年度開催に向けた準備を進めます。

### 3 事業概要

#### ①【新規】「(仮)飛騨の匠と止利仏師伝説展」開催準備及び市民講座等の実施

(ア) 令和4年度に開催を計画している飛騨の匠と止利仏師伝説をテーマとした展覧会開催に向けた資料整理や調査研究を進めるとともに図録を作成します。

(イ) 市民講座の開催（令和3年秋開催）

仏像・仏師の調査研究を実施している講師を招聘した講演会を開催します。

(ウ) 天生の森と止利仏師伝説ガイドツアーの開催（令和3年7月開催予定）

地元の郷土史家を講師に伝説の舞台である天生の森、匠屋敷、飛騨の匠石碑など止利仏師伝説のゆかりの地を巡るガイドツアーを行います。（対象：小学生と父兄）

#### ②【継続】河合保育園での伝説伝承

河合保育園において、地元の方による読み聞かせにより伝説を伝えるなど、幼少期から伝説に触れる場を提供します。

款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	7 地域振興費
所 属	河合振興事務所地域振興課		TEL0577-65-2221	予算書	P.55

## 拡充 バラと森のプロジェクト

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,833	ふるさと創生基金 1,833	交付金 1,500 委託料 300 消耗品費 33
(前年度予算 300 )		

### 2 事業背景・目的

河合町では、平成12年度より昼夜の寒暖差を活かした食用バラの無農薬栽培が始まっており、現在は栽培技術も確立され、生産・出荷されていますが、生産拡大や観光客向けコンテンツ造成など地域資源としての活用が課題となっています。

このことから、河合町産食用バラを使った商品の製造販売を手がけている市内外の事業者と連携して、「バラと飛騨の森のウィーク」と銘打ったバラに関連するツアーを開催し、無農薬栽培の「食べるバラ」を通じた市の豊かな自然や森の魅力の発信による観光客や関係人口の増加を図ります。

### 3 事業概要

#### ① 【新規】バラと飛騨の森のウィークの開催支援 (1,500千円)

市内外の関連事業者との実行委員会体制により、バラの料理やバラ摘み体験、バラ風呂など、バラに関連した体験や市内の森を散策するツアーを開催するとともに、ウィーク期間中、市内事業者によるマルシェを出店し、参加者への市特産品の販売を行います。

●開催日：令和3年6月20日～6月27日 ※ 予定

#### ② 【新規】食べるバラを活用したメニュー開発支援 (33千円)

食べるバラを利用した新しい料理メニューの開発を行っていただける市内飲食店に食べるバラを提供することで、メニュー開発を支援します。

#### ③ 【継続】バラ祭りの開催 (300千円)

地元の子どもから大人まで楽しむことができるバラ祭りを開催します。令和3年度はバラと飛騨の森のウィークのイベントも合わせて行います。

●開催日：令和3年6月20日 (日) 於：香愛ローズガーデン

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	7 地域振興費
所 属	河合振興事務所地域振興課	TEL	0577-65-2221	予算書	P.55

## **新規** 河合地歌舞伎の伝承支援

<b>1 事業費</b> (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
400	一般財源	400 交付金
		400

(前年度予算 0 )

### 2 事業背景・目的

河合町に伝わる地歌舞伎（村芝居）の歴史は河合村誌等の資料により、古くは文政6年（1809年）にその記録が残されています。当時各神社で奉納芝居が行われており、明治から第二次大戦後までは各神社の若社中を中心に盛んに行われていました。その後過疎化や社会構造の変化により衰退した時期もありましたが、平成19年2月に「河合町歌舞伎保存会」を設立、平成29年に「飛騨市河合町歌舞伎保存会」と改名し現在に至っています。

会員は、20代～60代の26名（R2. 4. 1現在）で構成されており、年1回の定期公演のほか、県等の主催事業による公演を行っています。また平成23年度より、河合小学校5・6年生のふるさと学習の一環として地歌舞伎の指導を実施し、発表の機会と伝統文化の継承を行っています。

こうした活動の継続と伝統芸能の継承のため、角川体育館を練習会場として利用していますが、公演を行える環境が整っていないことから、環境整備にかかる費用の一部を支援し、会員の更なる技術向上を支援します。

### 3 事業概要

#### ○ 飛騨市地歌舞伎設備整備交付金

伝承活動が継続できるように練習会場を公演可能な環境にするため、保存会が実施する舞台整備（定式幕の設置）費用の一部を支援します。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	7 地域振興費
所 属	河合振興事務所地域振興課	Tel.0577-65-2221		予算書	P. 56